

附則

此法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス但シ第十條ハ著作權法施行ノ日ヨリ施行ス

○不動産登記法

法律第二十四號 明治三十二年二月二十三日

第一章 總則

第二章 登記所及ヒ登記官吏

第三章 登記ニ關スル帳簿

第四章 登記手續

第一節 通則

第二節 所有權ニ關スル登記手續

第三節 所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續

第四節 抹消ニ關スル登記手續

第五章 抗告

附則

不動産登記法

第一章 總則

第一條 登記ハ左ニ掲ケタル不動産ニ關スル權利ノ設定、保存、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅ニ付キ

之ヲ爲ス

一 所有權

二 地上權

三 永小作權

四 地役權

五 先取特權

六 質權

七 抵當權

八 質借權

第二條 假登記ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

一 登記ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セサルトキ

二 前條ニ掲ケタル權利ノ設定、移轉、變更又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セントスルトキ

右ノ請求權カ始期附又ハ停止條件附ナルトキ其他將來ニ於テ確定スヘキモノナルトキ亦同シ

第三條 豫告登記ハ登記原因ノ無効又ハ取消ニ因ル登記ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタル場合ニ於テ之ヲ爲ス但登記原因ノ取消ニ因ル訴ニ付テハ其取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

第四條 詐欺又ハ強迫ニ因リテ登記ノ申請ヲ妨ケタル

第三者ハ登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス

第五條 他人ノ爲メ登記ヲ申請スル義務アル者ハ其登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス但其登記ノ原因カ自己ノ登記ノ原因ノ後ニ發生シタルトキハ此限ニ在ラズ

第六條 同一ノ不動産ニ關シテ登記シタル權利ノ順位ニ付キ法律ニ別段ノ定ナキトキハ其順位ハ登記ノ前後ニ依ル

登記ノ前後ハ登記用紙中同區ニ爲シタル登記ニ付テハ順位番號ニ依リ別區ニ爲シタル登記ニ付テハ受附番號ニ依ル

第七條 附記登記ノ順位ハ主登記ノ順位ニ依ル但附記登記間ノ順位ハ其前後ニ依ル假登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ本登記ノ順位ハ假登記ノ順位ニ依ル

第二章 登記所及ヒ登記官吏

第八條 登記スヘキ權利ノ目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ其各

登記所ヲ併セテ管轄スル直近上級ノ裁判所ニ於テ申請ニ因リ管轄登記所ヲ指定ス

第九條 町村其他登記簿ヲ分設シタル區畫カ甲登記所ノ管轄ヨリ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其區畫ニ關スル登記簿及ヒ其附屬書類ヲ乙登記所ニ移送スルコトヲ要ス

一個又ハ數箇ノ不動産ノ所在地カ甲登記所ノ管轄ヨリ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其不動産ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スルコトヲ要ス但登記簿ノ謄本ニハ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫シ其不動産ノ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第十條 登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得ル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得

第十一條 登記所ハ土地ニ付キ所有權ノ移轉又ハ質權ノ設定移轉若クハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ土地登記帳所管廳ニ通知スルコトヲ要ス未登記ノ土地ニ付キ所有權ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

土地臺帳所管轄ハ土地ノ分合、滅失、段別若シハ坪數ノ増減又ハ地目字番號ノ變更アリタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

第十二條 登記官吏ハ自己其妻又ハ四親等内ノ親族カ申請人ナルトキハ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者ニシテ且登記官吏ノ妻又ハ四親等内ノ親族ニ非サル者二人以上ノ立會アルニ非アレハ登記ヲ爲スコトヲ得ス但親族ニ付テハ親族關係カ止ミタル後亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ調書ヲ作り立會人ト共ニ之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

第十三條 登記官吏カ其職務ノ執行ニ付キ申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限り之ヲ賠償スル責ニ任ス

第三章 登記ニ關スル帳簿

第十四條 登記簿ハ土地登記簿及ヒ建物登記簿ノ二種トス
各種ノ登記簿ハ市ニ付テハ從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲シ町村ニ付テハ町村毎ニ別冊ト爲ス但登記事件夥

事項ヲ記載ス

戊區事項欄ニハ貸借權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十七條 建物登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄表題部及ヒ甲乙丙丁ノ四區ニ分テ尚ホ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ケ登記番號欄ニハ各建物ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ建物及ヒ附屬建物ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ地役權ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ先取特權、質權及ヒ抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

丁區事項欄ニハ貸借權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十八條 登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裏

不動産登記法

多ナル町村ニ付テハ大字其他從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲スコトヲ得

第十五條 登記簿ハ一年ノ土地又ハ一棟ノ建物ニ付キ一用紙ヲ備フ

同一ノ登記所ノ管轄ニ屬スル不動産カ登記簿ヲ分設シタル數箇ノ區畫ニ跨カルトキハ其一箇ノ區畫ノ登記簿ニノミ其不動産ニ關スル用紙ヲ備フ

第十六條 土地登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙丙丁戊ノ五區ニ分テ尚ホ表題部ニ表示欄表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ケ登記番號欄ニハ各土地ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ土地ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ地上權、永小作權及ヒ此等ノ權利ヲ目的トスル他ノ權利ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ地役權ニ關スル事項ヲ記載ス

丁區事項欄ニハ先取特權、質權及ヒ抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺捺シ且毎葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條 土地登記簿及ヒ建物登記簿ニ付キ各其見出帳ヲ設ク

第二十條 登記簿、見出帳、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス

申請書其他ノ附屬書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

第二十一條 何人ト雖モ手数料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又利害ノ關係アル部分ニ限り登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

第二十二條 登記簿及ヒ其附屬書類ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外登記所外ニ持出スコトヲ得ス但第二十條第二項ニ掲ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二十三條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合

ニ於テハ司法大臣ハ三ヶ月ヨリ少カラザル期間ヲ定メ其期間内ニ登記ノ回復ヲ申請スル者ハ仍ホ其登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘキ旨ヲ告示スルコトヲ要ス

第二十四條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ司法大臣ハ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第四章 登記手続

第一節 通則

第二十五條 登記ハ法律ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請又ハ官廳若クハ公署ノ囑託アルニ非ハレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

囑託ニ因ル登記ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外申請ニ因ル登記ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十六條 登記ハ登記権利者及ヒ登記義務者又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ申請スルコトヲ要ス

第二十七條 判決又ハ相續ニ因ル登記ハ登記権利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十八條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ登記名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十九條 官廳又ハ公署ノ公費處分ニ因ル權利移轉ノ登記ハ登記権利者ノ請求ニ因リ其官廳又ハ公署ヨ

リ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十條 官有不動産又ハ府、縣、郡、市、町村若クハ區ノ所有ニ係ル不動産ニ關スル權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ登記権利者ノ請求ニ因リ官廳若クハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十一條 官廳カ不動産ニ關スル權利ヲ取得シタルトキハ其權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ其官廳ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面及ヒ登記義務者ノ承諾書ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス官廳カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ニ付キ爲スヘキ登記ハ官廳カ登記権利者ナルトキハ職權ヲ以テ、登記義務者ナルトキハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス但官廳カ登記権利者ナルトキハ登記義務者ノ承諾書ヲモ添附スルコトヲ要ス

官廳カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ消滅ノ登記ハ登記権利者ノ請求ニ因リ官廳ヨリ遲滞ナク囑託書

コトヲ要ス

一 申請書

- 二 登記原因ヲ證スル書面
 - 三 登記義務者ノ權利ニ關スル登記簿
 - 四 登記原因ニ付キ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面
 - 五 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其權限ヲ證スル書面登記原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ前項第三號及ヒ第四號ニ掲ケタル書面ヲ提出スルコトヲ要セス
- 第三十六條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一 不動産所在ノ郡、市、區、町村、字及ヒ土地ノ番號

二 地目及ヒ段別又ハ坪數

三 申請人ノ氏名、住所若シ申請人カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務所

四 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其氏名住所

五 登記原因及ヒ其日附

ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十二條 假登記ハ次條ノ場合ヲ除ク外假登記權利者ノ申請ニ因リ其目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ遲滞ナク囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ假處分命令ハ假登記權利者カ假登記原因ヲ疏明シタルトキハ區裁判所之ヲ發スルコトヲ要ス

申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第三十三條 假登記ハ假登記義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其承諾書ヲ添附シテ假登記權利者ヨリ之ヲ登記所ニ申請スルコトヲ得

第三十四條 豫告登記ハ第三條ニ掲ケタル訴ヲ受理シタル裁判所ヨリ職權ヲ以テ遲滞ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十五條 登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スル

六 登記ノ目的
七 登記所ノ表示
八 年月日

第三十七條 登記スヘキ權利ノ目的カ建物ナル場合ニ於テハ申請書ニ其種類構造及ヒ建坪ヲ記載シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲ記載シ附屬建物アルトキハ其種類構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十八條 登記原因ニ買戻ノ特約其他登記ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ其事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條 登記權利者カ多數ナル場合ニ於テ登記原因ニ其持分ノ定アルトキハ申請書ニ其持分ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十條 登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セズ又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ノ副本ヲ提出スルコトヲ要ス

第四十一條 登記原因カ相續ナルトキハ申請書ニ相續ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十二條 申請人カ登記權利者又ハ登記義務者ノ相

續人ナルトキハ申請書ニ其身分ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十三條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其表示ノ變更ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十四條 登記義務者ノ權利ニ關スル登記消滅力減失シタルトキハ申請書ニ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者二人以上カ登記義務者ノ人選ナキコトヲ保證シタル書面ニ通テ添附スルコトヲ要ス

第四十五條 申請書ニ第三者ノ許可同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其第三者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシメテ其書面ニ代フルコトヲ得

第四十六條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數個ノ不動産ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テハ登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ナルトキニ限リ同一ノ申請書ヲ以テ登記ヲ申請スルコトヲ得

第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受

附帳ニ登記ノ目的申請人ノ氏名受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス但同一ノ不動産ニ關シテ同時ニ數個ノ申請アリタルトキハ同一ノ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス

申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ之ヲ申請人ニ交付スルコトヲ要ス

第四十八條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十九條 登記官吏ハ左ノ場合ニ限リ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ申請ヲ却下スルコトヲ要ス但申請ノ欠缺カ補正スルコトヲ得ヘキモノナル場合ニ於テ申請人カ即日ニ之ヲ補正シタルトキハ此限ニ在ラス

- 一 事件カ其登記所ノ管轄ニ屬セサルトキ
- 二 事件カ登記スヘキモノニ非サルトキ
- 三 當事者カ出頭セサルトキ
- 四 申請書カ方式ニ適合セサルトキ
- 五 申請書ニ掲ケタル不動産又ハ登記ノ目的タル權利ノ表示カ登記簿ト牴觸スルトキ
- 六 第四十二條ニ掲ケタル書面ヲ提出シタル場合

チ除ク外申請書ニ掲ケタル登記義務者ノ表示カ登記簿ト符合セサルトキ

七 申請書ニ掲ケタル事項カ登記原因ヲ證スル書面ト符合セサルトキ

八 申請書ニ必要ナル書面又ハ圖面ヲ添附セサルトキ

九 登録税ヲ納付セサルトキ

第五十條 表示欄ニ登記ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日登記ノ目的其他申請書ニ掲ケタル事項ニシテ不動産ノ表示ニ關スルモノヲ記載シテ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

事項欄ニ登記ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附登記ノ目的其他申請書ニ掲ケタル事項ニシテ登記スヘキ權利ニ關スルモノヲ記載シテ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第五十一條 登記權利者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノヨリ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ登記用紙ニ記載シ其氏名、住所ヲ共同人名簿ニ記載スルコトヲ得登記義務者ノ氏名、住所ヲ登記用紙ニ記

載スルコトヲ要スル場合ニ於テ登記義務者カ多數ナルトキ亦同シ

第五十二條 表示欄ニ登記ヲ爲ストキハ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ事項欄ニ登記ヲ爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十三條 附記ニ依ル登記ノ順位番號ヲ記載スルニハ主登記ノ番號ヲ用非其番號ノ左側ニ附記何號ト記載スルコトヲ要ス

第五十四條 假登記ハ登記用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲シ其左側ニ餘白ヲ存スルコトヲ要ス

第五十五條 假登記ヲ爲シタル後本登記ノ申請アリタルトキハ假登記ノ左側ノ餘白ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十六條 權利ノ變更ノ登記ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限り附記ニ依リテ其登記ヲ爲ス

第五十七條 權利ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ變更シタル登記事項ヲ抹スルコトヲ要ス

第五十八條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ附記ニ

第六十一條 第四十四條ノ場合ニ於テ登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ不動産ノ表示、登記原因、其日

附、登記權利者ノ氏名、住所、登記ノ目的及ヒ登記簿ノ旨ヲ登記義務者又ハ其一人ニ通知スルコトヲ要ス

第六十二條 官廳又ハ公署カ登記權利者ノ爲メニ登記ヲ囑託シタル場合ニ於テ登記所ヨリ登記簿ニ對シテ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ登記權利者ニ交付スルコトヲ要ス

第六十三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタル後其登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ登記權利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス但登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ニ通知スルコトヲ以テ足ル

第六十四條 第五十六條及ヒ第五十七條ノ規定ハ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 抹消シタル登記ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス

第六十六條 登記回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登記

不動産登記法

依リテ之ヲ爲ス前項ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示ヲ抹スルコトヲ要ス

第五十九條 行政區畫又ハ其名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル行政區畫又ハ其名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

第六十條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ登記原因ヲ證スル書面又ハ申請書ノ副本ニ登記番號、申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號及ヒ登記簿ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登記權利者ニ交付スルコトヲ要ス申請書ニ添付シタル登記簿又ハ第四十四條ニ掲ケタル書面ノ一通ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的及ヒ登記簿ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登記義務者ニ交付スルコトヲ要ス但登記名義人カ多數ナル場合ニ於テ其一部カ登記義務者ナルトキハ登記義務者ノ氏名、住所ヲモ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ記載スルコトヲ以テ足ル

回復スルコトキハ回復ノ登記ヲ爲シタル後更ニ抹消ニ係ル登記ト同一ノ登記ヲ爲シ若シ或登記事項ノミカ抹消ニ係ルトキハ附記ニ依リ更ニ其事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第六十七條 第九條第二項ノ場合ニ於テ乙登記所ハ移送ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ニ依リ相當登記區畫ノ登記簿ニ登記ヲ移スコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第六十八條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ一個又ハ數個ノ不動産ノ所在地カ甲登記區畫ヨリ乙登記區畫ニ轉屬シタルトキハ登記所ハ乙登記區畫ノ登記簿ニ其不動産ニ關スル登記ヲ移スコトヲ要ス

前條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ前登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第六十九條 第二十三條ノ場合ニ於テハ登記権利者ノミニテ登記ノ回復ヲ申請スルコトヲ得

第七十條 前條ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ前登記ノ順位番號申請書受附ノ年月日受附番號ヲ記載シ前登記ノ登記簿ヲ添附スルコトヲ要ス

第七十一條 第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ相當區順位番號欄ニ前登記ノ番號ヲ記載シ事項欄ニ前登記ノ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條 第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間中新登記ノ申請アリタルトキハ假設登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記簿ニ假設登記簿ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十三條 假設登記簿ニ爲シタル登記ハ第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間満了ノ後遲滞ナク之ヲ

ヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號欄ニ前用紙ノ登記番號ヲ轉寫シ前用紙ヲ綴綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其綴綴用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號欄ニ新用紙ヲ綴綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ綴綴スル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前用紙中表題部又ハ他ノ區ニ餘白アルトキハ表題部又ハ其區ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルコトヲ要ス

金錢其他ノ物ノ數量年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳叁拾ノ字ヲ用キルコトヲ要ス
文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字跡ヲ存スルコトヲ要ス

第二節 所有權ニ關スル登記手續

第七十八條 所有權ノ一部移轉ノ登記ヲ申請スル場合

ニ於テハ申請書ニ其部分ノ表示ヲ爲シ若シ登記原因ニ民法第二百五十六條第一項但書ノ定アルトキハ之

登記簿ニ移スコトヲ要ス此場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ假設登記簿ニ於ケル登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十七條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ其不動産ニ關スル假設登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第七十四條 假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移ス場合ニ於テ回復シタル登記アルトキハ新登記ノ順位番號欄ニハ回復シタル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十五條 假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ當事者ニ對シ之ニ本登記簿ヲ與フヘキ旨ヲ通知シ若シ回復シタル登記ト假設登記簿ヨリ移シタル登記ト既屬スルトキハ同時ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

當事者カ登記簿ヲ申請スル場合ニ於テハ假設登記簿ニ於ケル登記ノ登記簿ヲ提出スルコトヲ要ス
前項ノ申請アリタルトキハ第六十條ノ規定ヲ準用ス
第七十六條 登記用紙中表題部又ハ或區カ登記ヲ爲ス

ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十九條 土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ増減又ハ地目ノ字若クハ番號ノ變更アリタルトキハ其土地ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第八十條 前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地ノ分合、滅失若クハ増減シタル段別若クハ坪數并ニ現在ノ段別若クハ坪數ヲ記載シ又ハ新地目、新字若クハ新番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十一條 土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ減少又ハ地目ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第八十二條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ分筆ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス
前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲地ノ登記用紙中表示

欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十三條 前條第一項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中相當事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權其他ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ且所有權以外ノ權利ニ關スル登記中ニ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ヨリ乙地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ乙地ト共ニ其權利ノ目的タル旨ヲ附記スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ乙地ニ關シ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第八十四條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ乙地ノミカ所有權以外ノ權利ノ目的タル

トキハ乙地ノ登記用紙中相當事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ移シ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ甲地ノ登記用紙中所有權以外ノ權利ニ關スル登記ニ乙地ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十五條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合併ノ登記ヲ爲ストキハ乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲地事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ其登記カ合併シタル部分ノミニ關スル旨申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコト

ヲ要ス

甲地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ乙地ノ登記用紙中相當事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ合併シタル部分ノミカ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十二條 第二項第八十三條第二項第三項及ヒ前條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條 甲地ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合併ノ登記ヲ爲ストキハ乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ甲地ノ表示其番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第八十七條 前條ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲地事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其登記カ甲地タリシ部分ノミニ關スル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ乙地ノ登記用紙中相當事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ移シ甲地タリシ部分ノミカ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十三條 第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第八十八條 土地ノ段別又ハ坪數ノ増減ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ増減ノ原因ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十九條 地目、字又ハ土地ノ番號ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第九十條 土地ノ分合、滅失、別段若クハ坪數ノ増減又ハ地目、字若クハ番號ノ變更ノ登記ノ申請書ヲ受附タル時ニ於テ未タ土地臺帳所管廳ヨリ此等ノ事項ニ關スル通知ヲ受ケサルトキ又ハ其申請書ニ記載シタル登記ノ目的カ土地臺帳所管廳ノ通知ト符合セサルトキハ第四十九條ノ規定ヲ準用ス但登記ノ目的カ申請書ニ添附シタル土地臺帳謄本ト符合スルトキハ此限ニ在ラス

第九十一條 建物ノ分合、其番號若クハ構造ノ變更其
 滅失、其建坪ノ増減又ハ附屬建物ノ新築アリタルト
 キハ其建物ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク登記ヲ
 申請スルコトヲ要ス

建物ノ敷地ノ地目、字若クハ番號又ハ段別若クハ坪
 數ノ變更アリアルトキ亦同シ

第九十二條 前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合
 ニ於テハ申請書ニ分合シタル建坪、新番號若クハ新
 構造又ハ滅失、増減若クハ新築シタル建坪并ニ現在
 ノ建坪ヲ記載シ又ハ敷地ノ新地目、新字若クハ新番
 號又ハ増減シタル段別若クハ坪數并ニ現在ノ段別若
 クハ敷坪ヲ記載シ且建物ノ分合、構造ノ變更又ハ建
 坪ノ増減ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其圖面ヲ添
 附スルコトヲ要ス

第九十三條 建物ノ分合、其構造ノ變更、其滅失又ハ
 其建坪ノ減少ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其建物ノ
 登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキ
 ハ第八十一條ノ規定ヲ準用ス

第九十四條 甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シ
 テ之ヲ乙建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲スト

氏名、住所及ヒ分割又ハ區分ニ因リテ其者ノ所有權
 ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十七條 第八十五條第二項乃項第四項ノ規定ハ第
 九十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中
 甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル
 登記ノ原因ノ記載ナキトキハ第八十五條第二項乃至
 第四項ニ定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中
 甲區事項欄ニ申請人ノ氏名、住所及ヒ合併ニ因リテ
 其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十八條 甲建物ヲ乙建物又ハ其附屬建物ニ合併シ
 タル場合ニ於テ其登記ヲ爲スニ付テハ第八十六條及
 ヒ第八十七條ノ規定ヲ準用ス但甲建物ヲ乙建物ノ附
 屬建物ニ合併シタル場合ニ於テハ乙建物ノ前ノ表示
 及ヒ其番號ヲ抹スルコトヲ要セス

第九十九條 第八十八條ノ規定ハ建物又ハ附屬建物ノ
 建坪ノ増減ノ登記ニ之ヲ準用ス

附屬建物ノ新築ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登
 記用紙中表示欄ニ附屬建物ノ種類、構造及ヒ建坪ヲ
 記載スルコトヲ要ス

第一百條 第八十九條ノ規定ハ建物ノ番號ノ變更又ハ

キハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ
 分割又ハ區分ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記
 載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲建物ノ登記用紙中表
 示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割又ハ區分ニ因リテ
 他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示
 及ヒ其番號ヲ抹スルコトヲ要ス但分割又ハ區分シ
 タル附屬建物ノミニ關スル表示番號アルトキハ其番
 號ヲモ抹スルコトヲ要ス

第九十五條 甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シ
 テ之ヲ乙建物ノ附屬建物ト爲シタル場合ニ於テ其登
 記ヲ爲ストキハ乙建物ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ
 因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要
 ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
 第九十六條 第八十三條及ヒ第八十四條ノ規定ハ第九
 十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲
 區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登
 記原因ノ記載ナキトキハ第八十三條ニ定メタル手續
 ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ

建物若クハ附屬建物ノ構造ノ變更ノ登記ニ之ヲ準用
 ス

第八十八條及ヒ第八十九條ノ規定ハ建物ノ敷地ノ地
 目、字若クハ番號ノ變更又ハ段別若クハ坪數ノ増減
 ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百條 不動産ノ滅失ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙
 中表示欄ニ滅失ノ原因ヲ記載シ不動産ノ表示、表示
 番號及ヒ登記番號ヲ抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコ
 トヲ要ス

第一百條 前條ノ場合ニ於テ滅失シタル不動産カ他ノ
 不動産ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タリシトキハ
 他ノ不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ滅失シタル
 不動産ノ表示ヲ爲シ滅失ノ原因及ヒ其不動産ノ滅失
 シタルコトヲ附記シ其不動産ト共ニ所有權以外ノ權
 利ノ目的タル旨ヲ記載シタル登記中滅失シタル不動
 産ノ表示ヲ抹スルコトヲ要ス

他ノ不動産ノ所在地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルト
 キハ遲滞ナク前項ノ登記ヲ其登記所ニ囑託スルコト
 ヲ要ス
 前項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク第一項ニ定

メタル手續ヲ爲スコトヲ要ス

第百三條 土地收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得其申請書ニハ收用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタル場合ニ於テ舊所有者カ買戻權ヲ有スル旨ヲ記載シ補償金ノ受取證又ハ預證ヲ添付スルコトヲ要ス

官廳又ハ公署カ起業者ナルトキハ其官廳又ハ公署ハ遲滞ナシ前項ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス
第百四條 不動産ヲ華族世襲財産ト爲スコトヲ認可シタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク世襲財産ノ創設ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第百五條 未登記ノ土地所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

- 一 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相続人カ土地臺帳ニ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者
- 二 判決ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第百六條 未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

- 一 建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記

第百十條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ第百五條又ハ第百六條ノ規定ニ依リテ證明ヲ爲スコトヲ要セス

第三節 所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續
第百十一條 地上權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ地上權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ存続期間、地代又ハ其支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十二條 永小作權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ小作料ヲ記載シ若シ登記原因ニ存続期間、小作料ノ支拂時期其他永小作人ノ權利若クハ義務ニ關スル特約又ハ民法第二百七十二條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十三條 地役權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ要役地ノ表示ヲ爲シ地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ民法第二百八十一條第一項但書、第二百八十五條第一項但書又ハ第二百八十六條ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス
第百十四條 地役權ノ設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ承役地

簿ニ登記セラレタル者

二 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相続人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者

三 既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

四 判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第百七條 前二條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ第百五條第何號又ハ前條第何號ニ依リテ登記ヲ申請スル旨ヲ記載シ必要ナル證明書類ヲ添付シ前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ圖面ヲ添付スルコトヲ要ス但登記原因及ヒ其日附ヲ記載シ又ハ第三十五條第二號乃至第四號ニ掲ケタル書面ヲ添付スルコトヲ要セス

第百八條 未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ爲スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス
第百九條 第二百二十八條及ヒ第二百二十九條ノ規定ハ未登記ノ不動産所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

タル不動産ノ表示ヲ爲シ其不動産カ地役權ノ目的タル旨、地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載スルコトヲ要ス
要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク其登記所ニ承役地、要役地、地役權設定ノ目的并ニ範圍及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スルコトヲ要ス
前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十五條 先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス但不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ付テハ其工事費用ノ豫算額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十六條 質權ノ設定又ハ轉質ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ存続期間若クハ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、違約金若クハ賠償額ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ、民法第三百四十六條但書ノ定アルトキ、第三百五十六條若クハ第三百五十七

條ノ規定ニ異ナリタル定アルトキ又ハ第三百七十條
但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十七條 抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於
テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期
ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其發生期
若シハ支拂時期ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタ
ルドキ又ハ民法第三百七十條但書ノ定アルトキハ之
ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十八條 先取特權質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定
ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其權利ノ目的カ所有權
以外ノ權利ナルトキハ申請書ニ其權利ノ表示ヲ爲ス
コトヲ要ス

第百十九條 質權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル
場合ニ於テ設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ
債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス質權又ハ抵當權ノ移
轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權又ハ
抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スルコト
ヲ要ス

第百二十條 一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タ
ル先取特權質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ

記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第百二十六條 數個ノ不動産ニ關スル權利カ先取特權
質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其一個ノ不動
産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵
當權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ他ノ不
動産ノ登記用紙中相當事項欄ニ其權利ノ表示ヲ爲
シ且其權利ノ變更又ハ消滅シタル旨ヲ附記シ第百二
十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル登記中變更又ハ消滅
ニ係ル事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス其一個ノ不動産ニ
關スル權利ノ表示ニ付キ變更ノ登記ヲ爲シタルトキ
亦同シ

第百十四條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ
之ヲ準用ス

第百二十七條 貸借權ノ設定又ハ貸借物ノ轉貸ノ登記
ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ借賃ヲ記載シ若シ
登記原因ニ存續期間若クハ借賃ノ支拂時期ノ定アル
トキ又ハ貸借權ノ移轉若クハ貸借物ノ轉貸ヲ許シタ
ルトキハ之ヲ記載シ貸賃借ヲ爲ス者カ處分ノ能力若
クハ權限ヲ有セサル者ナルトキハ其旨ヲ記載スルコ
トヲ要ス

申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其債權ノ價格ヲ記載
スルコトヲ要ス

第百二十一條 官吏又ハ公吏ノ身元保證ヲ目的トスル
抵當權ノ設定ノ登記ハ附記書ニ其官吏又ハ公吏カ差
出シタル登記請求書ヲ添附シテ當該官廳又ハ公署ヨ
リ遲滞ナク之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第百二十二條 數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トス
ル先取特權質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ
申請スル場合ニ於テハ申請書ニ各不動産ニ關スル權
利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十三條 債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル
先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル
場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル
債權額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十四條 第百二十二條ノ規定ニ從ヒテ登記ノ申
請アリタル場合ニ於テ其一個ノ不動産ニ關スル權利
ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中相當
區事項欄ニ他ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其
權利カ共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルコトヲ要ス
第百二十五條 先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登

質借權ノ移轉又ハ貸借物ノ轉貸ヲ許シタル旨ノ登記
アラサル場合ニ於テ貸借權ノ移轉又ハ貸借物ノ轉貸
ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ貸賃人ノ承
諾書ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十八條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ニ
關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ
證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第百二十九條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ
爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表
示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ且甲區事項欄ニ所有者ノ
氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ノ命スル裁判ニ因リテ
所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百三十條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ヲ目
的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リ
テ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得
第百三十一條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ
爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表
示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ甲區事項欄ニ何權利ヲ目
的トスル何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ所有權
ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ且所有權以外ノ權利ヲ登記

スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十二條 既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十三條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十四條 前四條ノ規定ハ所有權以外ノ權利又ハ其權利ヲ目的トスル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三百三十五條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産ニ付キ所有權以外ノ權利若クハ其權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記又ハ既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ裁判ニ依リテ其權利ヲ證スルコトヲ要セス

第三百三十九條 建物ヲ新築スルニ付キ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滞ナク所有權ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス但第百六條及ヒ第百七條ノ適用ヲ妨ケス

附屬建物ヲ新築スルニ付キ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滞ナク新築ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第四百十條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ更ニ建物ノ表示ヲ爲シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ抹消スルコトヲ要ス但前條第一項ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ關シテ甲區事項欄ニ爲シタル登記ヲモ抹消スルコトヲ要ス

第四節 抹消ニ關スル登記手續

第四百十一條 登記シタル權利カ或人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其死亡ヲ證スル戸籍更ノ書面其他ノ公正證書ヲ添附スルトキハ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

スルコトヲ要セス

第三百三十六條 建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ設計書ニ定メタル其建物ノ種類、構造、建坪、建物ヲ新築スヘキ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號及ヒ工事費用ノ豫算額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載シ設計書及ヒ圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三百三十七條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ新築スヘキ建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ登記義務者ノ氏名、住所及ヒ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲スニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十八條 既登記ノ主タル建物ノ附屬建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ新築スヘキ附屬建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百十二條 登記權利者カ登記義務者ノ行方ノ知レサルニ因リ之ト共ニ登記ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其原本ヲ添附シ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書及ヒ債權弁ニ最後ノ二年分ノ定期金ノ受取證書ヲ添附シタルトキハ登記權利者ノミニテ先取特權質權又ハ抵當權ニ關スル登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十三條 華族世襲財產ノ解除ヲ認可シタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク華族世襲財產ノ創設ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百十四條 假登記ノ抹消ハ假登記名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得
申請書ニ假登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ原本ヲ添附シタルトキハ登記上ノ利害關係人ヨリ假登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得
第四百十五條 第三條ニ掲ケタル訴ヲ却下シタル裁判

若シハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判ヲ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付キ和解アリタルトキハ第一審裁判所ハ遲滞ナク囑託書ニ裁判ノ謄本若クハ抄本又ハ訴ノ取下請求ノ拋棄若クハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百四十六條 登記ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其抹消ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第四百四十七條 登記ヲ抹消スルニハ抹消ノ登記ヲ爲シタル後抹消スヘキ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テ抹消ニ係ル權利ヲ目的トスル第三者ノ權利ニ關スル登記アルトキハ登記用紙中相當區事項欄ニ其第三者ノ權利ノ表示ヲ爲シ何權利ノ登記ヲ抹消シタルニ因リテ抹消ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百四十八條 第二十九條ノ規定ニ從ヒ官廳又ハ公署ヨリ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ノ囑託アリタル場合ニ於テハ滯納處分ニ關スル差押ノ登記ヲ抹消シ若シ其權利ヲ目的トセル先取特權、質權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス
第四百四十九條 第三百三條ノ規定ニ從ヒ土地收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ノ申請又ハ囑託アリタル場合ニ於テ其不動産ノ登記用紙中所有權又ハ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス但其不動産ノ爲メニ存スル地役權ノ登記ハ此限ニ在ラス

第五章 抗告

第五百十條 登記官吏ノ決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百十一條 抗告ハ登記所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

第五百十二條 抗告ハ新ナル事實及ヒ證據方法ヲ以テ其證據ト爲スコトヲ得ス

第五百十三條 登記官吏カ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ三日内ニ意見ヲ附シテ事件ヲ抗告裁判所ニ送付スルコトヲ要ス
登記官吏カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分

第五百十四條乃至第五百十七條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第五百十九條 送達ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用シ抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

附則

第六十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十一條 明治十九年法律第一號登記法中地所及ヒ建物ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第六十二條 明治六年第十八號布告地所質入書入規則又ハ同年第四百八號布告建物書入質規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ一年内ニ債權者ヨリ其登記ヲ申請セザルトキハ其權利ハ公證ノ効力ヲ失フ
前項ノ規定ニ從ヒテ登記シタル權利ノ順位ハ公證ノ順位ニ依ル

第六十三條 本法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ定ム
第六十四條 本法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ

フ爲スコトヲ要ス若シ登記完了ノ後ナルキトハ其登記ニ付キ異議アル旨ノ附記ヲ爲シ之ヲ登記上ノ利害關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス
第五百十四條 抗告ハ執行ヲ停止スル効力ヲ有セス
抗告裁判所ハ抗告ニ付キ決定ヲ爲ス前登記官吏ニ假登記ヲ命スルコトヲ得
第五百十五條 抗告裁判所カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ決定ヲ以テ登記官吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス
抗告裁判所ハ登記上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送達スルコトヲ要ス
第五百十六條 抗告裁判所ノ決定ニハ理由ヲ附スルコトヲ要ス
第五百十七條 登記官吏カ抗告裁判所ノ命令ニ依リテ登記ヲ爲ストキハ命令ヲ爲シタル裁判所、命令ノ年月日、命令ニ依リテ登記ヲ爲ス旨及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス
第五百十八條 抗告裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル決定ナルコトヲ理由トスルトキニ限り抗告ヲ爲スコトヲ得

不動産登記法

本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ移シ相當區順位番號欄及事項欄ニ舊登記簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル番號及事項ヲ移シ舊登記簿ノ用紙中新登記簿ノ用紙ニ移シタル番號及事項ヲ採スルコトヲ要ス

法律第四十四號 明治三十二年三月七日

明治十九年法律第一號登記法中特許意匠及商標ノ登記ニ關スル規定ハ特許法意匠法及商標法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

法律第四十號 明治三十二年三月七日

民法第七百九條ノ規定ハ失火ノ場合ニハ之ヲ適用セス但シ失火者ニ重大ナル過失アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

法律第五十一號 明治三十二年三月九日

非訟事件手續法中左ノ通改正ス

第三十七條 第三百三十六條乃至第三百三十八條及七百七十五條乃至第七百七十七條ノ規定ハ法人ノ清算人ニ之ヲ準用ス

第八十三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第八十三條ノ二第八十一條第一項及第二項ノ規定ハ民法第三百五十四條ニ依リ質物ヲ以テ直チニ辨濟ニ充ツルコトヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス
裁判所カ申請ヲ許可シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ債務者ノ負擔トス

第二百一十一條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス
前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル理事又ハ假理事カ同一登記所ニ第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其資格ヲ證

スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第二百二十六條 商法第四十七條、第四十八條、第一百九十六條第二項、第二百二十四條、第六十條第二項、第九十九條第二項、第九十八條及ヒ商法施行法第九十五條第二項、第二百二條第二項、第一百十條第二項ニ定メタル事件ハ會社ノ本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス

商法第二百六十條ニ定メタル事件ハ閉鎖ヲ命セラルヘキ外國會社ノ支店ノ所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス

商法第二百三十三條ニ定メタル事件ハ解散シタル株式會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス
商法第二百八十九條第一項及第六百十條第一項ニ定メタル事件ハ競賣ニ付スヘキ物品所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

第二百二十九條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第二百二十九條ノ二 商法第九十八條ノ規定ニ依リ檢査役ノ選任ニ關スル裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判所ハ取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽クヘシ
前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

非訟事件手續法中改正

第三百一十一條 商法第一百一十一條第二項ノ規定ニ依リ檢査ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ檢査ヲ要スル事由同法第六十條第二項ノ規定ニ依リ總會召集ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ取締役カ其召集ヲ忘リシ事實ヲ説明スルコトヲ要ス

前項ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三百三十四條 商法第四十七條、第四十八條及ヒ商法施行法第二百二條第二項ノ場合ニ於ケル會社ノ解散ノ命令ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前利害關係人ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

前二項ノ規定ハ會社ノ申請ニ因リ開業期間ノ伸長ニ付キ裁判ヲ爲ス場合、商法施行法ノ規定ニ依リ會社ノ營業ノ禁止ヲ命スル場合及ヒ日本ニ設立シタル外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス
第三百三十五條 會社及ヒ檢事ハ前條ノ決定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス
抗告裁判所カ會社ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔トス
シタル前審ノ費用ハ國庫ノ負擔トス

第三百三十五條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第三百三十五條ノ二 會社ノ解散若シハ營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル裁判カ確定シタルトキハ裁判所ハ解散シタル會社、營業ヲ禁止セラルタル會社ノ本店及ヒ支店又ハ閉鎖シタル外國會社ノ支店所在地ノ商業登記所ニ其登記ノ囑託ヲ爲スヘシ抗告裁判所カ裁判ヲ爲シタルトキ亦同シ登記所カ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ外國會社ニ付テハ其支店ノ登記ヲ抹消シ營業ヲ禁止セラレタル會社ニ付テハ其本店及ヒ支店ノ登記ニ其旨ヲ記載スヘシ

第三百三十五條ノ三 第二百二十六條第一項及ヒ前三條ノ規定ハ會社ニ非スシテ商業登記ヲ爲シタル者ニ對シ裁判所カ商法施行法ノ規定ニ依リテ營業ノ禁止ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條及ヒ第二十四條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

第三百五十九條 商法施行法第十三條第一項ノ規定ニ依リ他人カ登記シタル商號ト同一ノ商號ノ登記ヲ申請

ル書面、株主ヲ募集シタル場合ニ於テハ各株主ノ株式申込證

四 取締役及ヒ監査役又ハ検査役カ商法第三百三十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル調査報告書及ヒ其附屬書類

五 検査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其謄本

六 發起人カ取締役及ヒ監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

七 開業前ニ利息ノ配當ヲ爲スヘキ定款ノ定アルトキハ之ヲ認可シタル裁判ノ謄本

八 會社ノ事業ノ目的カ官廳ノ免許ヲ受ケヘキモノナルトキハ其免許書又ハ其認證アル謄本

九 創立總會ノ決議錄

第百八十八條 支店ノ設立本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ總取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ登記事項ニ付キ裁判所ノ認可ヲ要スル場合ニ於テハ其裁判ノ謄本、株主總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス
取締役又ハ監査役ノ氏名又ハ住所ノ變更ノ登記ハ取

非訟事件手続法中改正

スル者ハ舊商法施行前ヨリ之ヲ使用スルコトヲ證明スルコトヲ要ス

第六十一條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ノ承繼人カ商號ヲ續用セントスルトキハ其資格ヲ證スル書面又ハ讓受證書ヲ添ヘ其登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス
商號ノ登記ヲ爲シタル者カ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク其登記ヲ申請スヘシ

第六十二條 商號ヲ廢止シ又ハ變更シタルトキハ當事者ハ其登記ヲ申請スヘシ
相續人又ハ法定代理人カ前項ノ申請ヲ爲ストキハ申請書ニ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
第二百一十一條第三項ノ規定ハ本條第一項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第八十七條 株式會社ノ設立ノ登記ハ總取締役及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス
一 定款
二 株主名簿
三 發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケタル場合ニ於テハ各發起人ノ引受ケタル株式ノ員數ヲ記載シタル

締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ
第九十四條ノ次ニ左ノ四條ヲ加フ

第九十四條ノ二 舊商法ノ規定ニ依リテ設立シタル株式會社カ商法施行法第五十條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス
一 定款

二 株主名簿

三 各株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面

四 設立免許書

第九十七條第一項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十四條ノ三 舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ増加シタル場合ニ於テ會社カ商法施行法第八十五條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス
一 株主名簿

二 新株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面

三 資本ノ増加ニ關スル株主總會ノ決議錄及ヒ假決議錄

非訟事件手續法中改正

第九十四條ノ四 舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ減少シタル場合ニ於テ會社カ資本減少ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 舊商法第二百七條ニ依ル通知及ヒ催告ヲ爲シタルコト及ヒ異議ヲ申出テタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面
- 二 資本ノ減少ニ關スル株主總會ノ決議録及ヒ假決議録

第九十四條ノ五 舊法ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於テ會社カ商法施行法第七十九條及ヒ第八十條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 株金ノ拂込金額ヲ證スル書面
- 二 債券原簿
- 三 主務省ノ認許書又ハ其認許アル謄本
- 四 債券ノ發行ニ關スル株主總會ノ決議録

第九十八條 第九十九條乃至第一百零一條及ヒ第一百零六條第一項ノ規定ハ資本ノ増加若シハ減少又ハ社債ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五條 削除

第二百六條 民法第八十四條、第一千七百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十一條、第二百六十二條、第五百三十六條及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條、第九十五條第三項ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔トシ

擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百九條 非訟事件手續法其他從前ノ法令ニシテ本法ノ規定ト牴觸シ又ハ重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

本法施行前ニ裁判所カ申立ヲ受ケ又ハ着手シタル事件ハ舊法令ニ依ル

第二百九條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二百九條ノ二 外國人ニ關スル非訟事件手續ニシテ條約ニ因リ特ニ定ムルコトヲ要スルモノハ司法大臣之ヲ定ム

會人代署シ其事由ヲ記載ス可シ」ヲ削ル

第二十一條 官吏、公吏訴訟ニ關スル書類ノ原本、正本又ハ謄本ヲ作ルニ付キ文字ヲ改竄ス可カラズ若シ挿入、削除及ヒ欄外ノ記入アルトキハ之ニ認印ス可シ文字ヲ削除スルトキハ之ヲ讀ミ得ヘキ爲メ字跡ヲ存シ其數ヲ記載ス可シ此規定ニ背キタルトキハ其變更増減ノ効ナカル可シ

第二十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十一條ノ二 官吏、公吏ニ非タル者ノ署名捺印ス可キ場合ニ於テ捺印スルコト能ハサルトキハ署名ノミヲ爲シ署名スルコト能ハサルトキハ立會人ヲシテ代署セシメ捺印ノミヲ爲シ若シ署名捺印スルコト能ハサルトキハ立會人ヲシテ代署ヒシム可シ

立會人ハ其代署ノ事由ヲ記載シテ署名シ又ハ署名捺印ス可シ

官吏、公吏ノ面前ニ於テハ本人署名スルコト能ハサル場合ト雖モ立會人ヲ要セス官吏、公吏代署シテ其事由ヲ附記ス可シ

法律第七十二號 明治三十二年三月十八日

水ノ使用ニ關スル權利其他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ニ付キテハ土地收用法ノ規定ヲ準用ス

○刑事訴訟法中改正

法律第七十三號 明治三十二年三月二十日

刑事訴訟法中左ノ通改正ス

第二十條第二項中「若シ署名捺印スルコト能ハサルトキハ官吏、公吏ノ面前ニ於テ作リタル場合ヲ除ク外立

第七十七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

勾引狀、勾留狀ヲ執行スルニハ其正本ヲ携帶シ被告

人ノ請求アルトキハ之ヲ示ス可シ
同條ニ左ノ二項ヲ加フ

勾引狀、勾留狀ヲ執行シタルトキハ其正本ニ執行ノ
場所及ヒ日時ヲ記載シ若シ執行スルコト能ハサルト
キハ其事由ヲ記載シテ署名捺印ス可シ

巡查、憲兵卒ハ令狀ニ關スル書類ヲ檢事ニ差出ス可
シ

第八十三條 削除

第八十四條 在監中ノ被告人ニ對シ發シタル勾留狀ハ
司獄官吏ヲシテ之ヲ執行セシム

勾留狀執行ニ關シテハ第七十七條ノ規定ヲ適用ス

第八十五條 勾留ヲ受ケタル被告人ハ官吏ノ立會ニ依
リ他人ト接見スルコトヲ得

書類ハ豫審判事又ハ檢事ノ檢閱ヲ經タル後他人ト之
ヲ授受スルコトヲ得

豫審判事ハ必要ナリト思料シタルトキハ被告人ノ監
房ヲ別異シ、他人トノ接見、書類物件ノ授受ヲ禁シ
又ハ其書類物件ヲ差押フルコトヲ得

第二節 密室監禁第八十七條第八十八條及第八十九條削
除

疑アルトキ

第五 被告事件ノ模様ニ因リ裁判所ニ於テ辯護人
ヲ必要ナリトスルトキ

前項ノ辯護人ハ裁判長ノ職權ヲ以テ其裁判所所屬ノ
辯護士中ヨリ選任ス可シ但辯護士一名ヲシテ被告人
數名ノ辯護ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百三條 刑ノ言渡ヲ爲スニハ罪トナルヘキ事實及
ヒ證據ニ依リテ之ヲ認メタル理由ヲ明示シ且法律ヲ
適用シ其理由ヲ付ス可シ
無罪又ハ免訴ノ言渡ヲ爲スニ付テモ亦其理由ヲ明示
スヘシ

○遺失物法

法律第八十七號 明治三十二年三月二十三日

第一條 他人ノ遺失シタル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ
遺失者又ハ所有者其ノ他物件回復ノ請求權ヲ有スル
者ニ其ノ物件ヲ返還シ又ハ警察官署ニ之ヲ差出スヘ
シ但シ法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁
シタル物件ハ返還スルノ限ニアラス

物件ヲ警察官署ニ差出シタルトキハ警察官署ハ物件

遺失物法

第三百三十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

第三百條 第一百條ノ規定ハ鑑定人ニ付テモ亦之ヲ適用
ス

第三百五十八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三百五十八條ノ二 保釋ヲ許サ、ル言渡ニ對シテハ其
裁判所ヘ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

裁判所ハ檢事ノ意見ヲ聽キ其許否ヲ決定ス可シ

第三百七十八條 裁判長ハ何時ニテモ禁錮以上ノ刑ニ該
ル可キ被告人ニ對シ勾引狀ヲ發スルコトヲ得

裁判所ハ被告人ヲ訊問シタル後何時ニテモ禁錮以上
ノ刑ニ該ル可キ被告人ニ對シ勾留狀ヲ發スルコトヲ
得

第三百七十九條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三百七十九條ノ二 左ノ場合ニ於テ被告人自ラ辯護人
ヲ選任セザルトキハ裁判所ハ檢事ノ申立ニ因リ又ハ
職權ヲ以テ辯護人ヲ付スルコトヲ得

第一 被告人十五歳未満ナルトキ

第二 被告人婦女ナルトキ

第三 被告人弱者又ハ癡者ナルトキ

第四 被告人精神病ニ罹リ又ハ意識不十分ナルノ

ノ返還ヲ受ケヘキ者ニ之ヲ返還スヘシ若シ返還ヲ受
ケヘキ者ノ氏名又ハ居所ヲ知ルコト能ハサルトキハ
命令ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲スヘシ

第二條 警察官署ハ其ノ保管ノ物件滅失又ハ毀損ノ虞
アルトキ又ハ其ノ保管ニ相當ノ費用若ハ手數ヲ要
スルトキハ命令ノ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ賣却スルコ
トヲ得

賣却ノ費用ハ賣却代金ヨリ支辨ス

賣却費用ヲ控除シタル賣却代金ノ殘額ハ拾得物ト看
做シテ之ヲ保管ス

賣却處分ニ對シテハ出訴スルコトヲ得ス

第三條 拾得物ノ保管費公告費其ノ他必要ナル費用ハ
物件ノ返還ヲ受ケタル者又ハ物件ノ所有權ヲ取得シ之
ヲ引取ル者ノ負擔トシ民法第二百九十五條乃至第三
百二條ノ規定ヲ適用ス

第四條 物件ノ返還ヲ受ケタル者ハ物件ノ價格百分ノ五
ヨリ少カラス二十ヨリ多カラサル報勞金ヲ拾得者ニ
給スヘシ但シ國庫其ノ他公ノ法人ハ報勞金ヲ請求ス
ルコトヲ得ス

第五條 第二條ニ依リ賣却シタル物件ニ付テハ賣却代

遺失物法

金ノ額ヲ以テ物件ノ價格トス

第六條 第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ハ物件ヲ返還シタル後一ヶ月ヲ過クルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第七條 拾得者ハ豫メ申告シテ拾得物ニ關スル一切ノ權利ヲ拋棄シ義務ヲ免ルコトヲ得

第八條 物件ノ返還ヲ受クヘキ者ハ其ノ權利ヲ拋棄シテ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金辨償ノ義務ヲ免ルコトヲ得

物件ノ返還ヲ受クヘキ各權利者其ノ權利ヲ拋棄シタルトキハ拾得者其ノ物件ノ所有權ヲ取得ス但シ拾得者其ノ取得權ヲ拋棄シ第一項ノ例ニ依ルコトヲ得法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ヲ拾得シタル者ハ所有權ヲ取得スルノ限ニアラス

第九條 第十六條ニ依リ處罰セラレタル者及拾得ノ日ヨリ七日内ニ第一條第一項又ハ第十一條第一項ノ手續ヲ爲サハル者ハ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ヲ受クルノ權利并ニ拾得物ノ所有權ヲ取得スルノ權利ヲ失フ

第十三條 埋藏物ニ關シテハ第十條ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ準用ス

學術技藝若ハ考古ノ資料ニ供スヘキ埋藏物ニシテ其ノ所有者知レサルトキハ其ノ所有權ハ國庫ニ歸屬ス此ノ場合ニ於テハ國庫ハ埋藏物ノ發見者及埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ニ通知シ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ給スヘシ

埋藏物ノ發見者ト埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ト異ルトキハ前項ノ金額ハ折半シテ之ヲ給スヘシ本條ノ金額ニ不服アル者ハ第二項ノ通知ノ日ヨリ六ヶ月内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十四條 本法及民法第二百四十條第二百四十一條ノ規定ニ依リ物件ノ所有權ヲ取得シタル者取得ノ日ヨリ一ヶ年内ニ物件ヲ警察官署ヨリ引取ラサルトキハ所有權ヲ喪失ス

第十五條 本法ノ規定ニ依リ警察官署ニ保管スル物件ニシテ交付ヲ受クル者ナキトキハ其ノ所有權國庫ニ歸屬ス

第十六條 拾得物其ノ他本法ノ規定ヲ準用スル物件ヲ隠匿シ若ハ不正ニ處分シタル者ハ三月以下ノ重禁錮

法人ノ役立方

第十條 管守者アル船車建築物其ノ他公眾ノ通行ヲ禁シタル構内ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者ハ其ノ物件ヲ管守者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ船車建築物等ノ占有者ヲ以テ拾得者トス自己ノ管守スル場所ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者亦同シ

本條ノ場合ニ於テ報勞金ハ前項ノ占有者ト現ニ物件ヲ拾得シタル者ト折半スヘシ

第十一條 犯罪者ノ置去リタルモノト認ムル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ其ノ物件ヲ警察官署ニ差出スヘシ前項ノ物件ニ關シテハ法律ノ規定ニ依リ沒收スルモノヲ除ク外本法及民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ公訴權消滅ノ日ヨリ一ヶ年間還付ヲ受クル者ナキトキニ限り拾得者ニ於テ所有權ヲ取得ス

犯罪捜査ノ爲必要ナルトキハ警察官ニ於テ公訴權消滅ノ日マテ公告ヲ爲サハルコトヲ得

第十二條 課テ占有シタル物件他人ノ置去リタル物件又ハ逸走ノ家畜ニ關シテハ本法及民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但課テ占有シタル物件ニ關シテハ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ヲ請求スルコトヲ得ス

又ハ貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ハ刑法第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ルトキハ之ヲ論セス

附則
第十七條 明治九年第五十六號布告遺失物取扱規則ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

農商務省令第一號 明治三十二年一月四日

第一條 農商務省ノ主管ニ屬スル社團又ハ財團ニシテ民法第三十四條ノ規定ニ依リ法人トシテ設立スルノ許可ヲ得ントスルモノハ其主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ申請スヘシ

第二條 前條ノ手續ヲ經テ設立シタル法人ヨリ農商務大臣ニ願出又ハ届出ヲナストキハ總テ其主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

明治三十二年五月十三日印刷
明治三十二年五月十七日發行

(非賣品)

編發
輯行
人兼

神戸市山本通五丁目一番邸

木村竹治郎

印刷人

辻岩

雄

神戸市元町一丁目廿三番邸

印刷所

明輝

社

神戸市元町一丁目廿三番邸

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

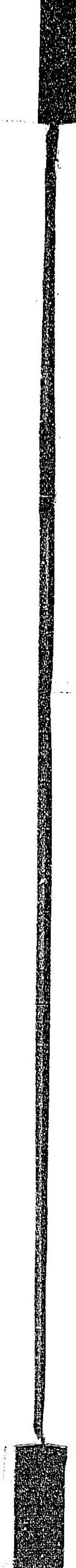
30

31

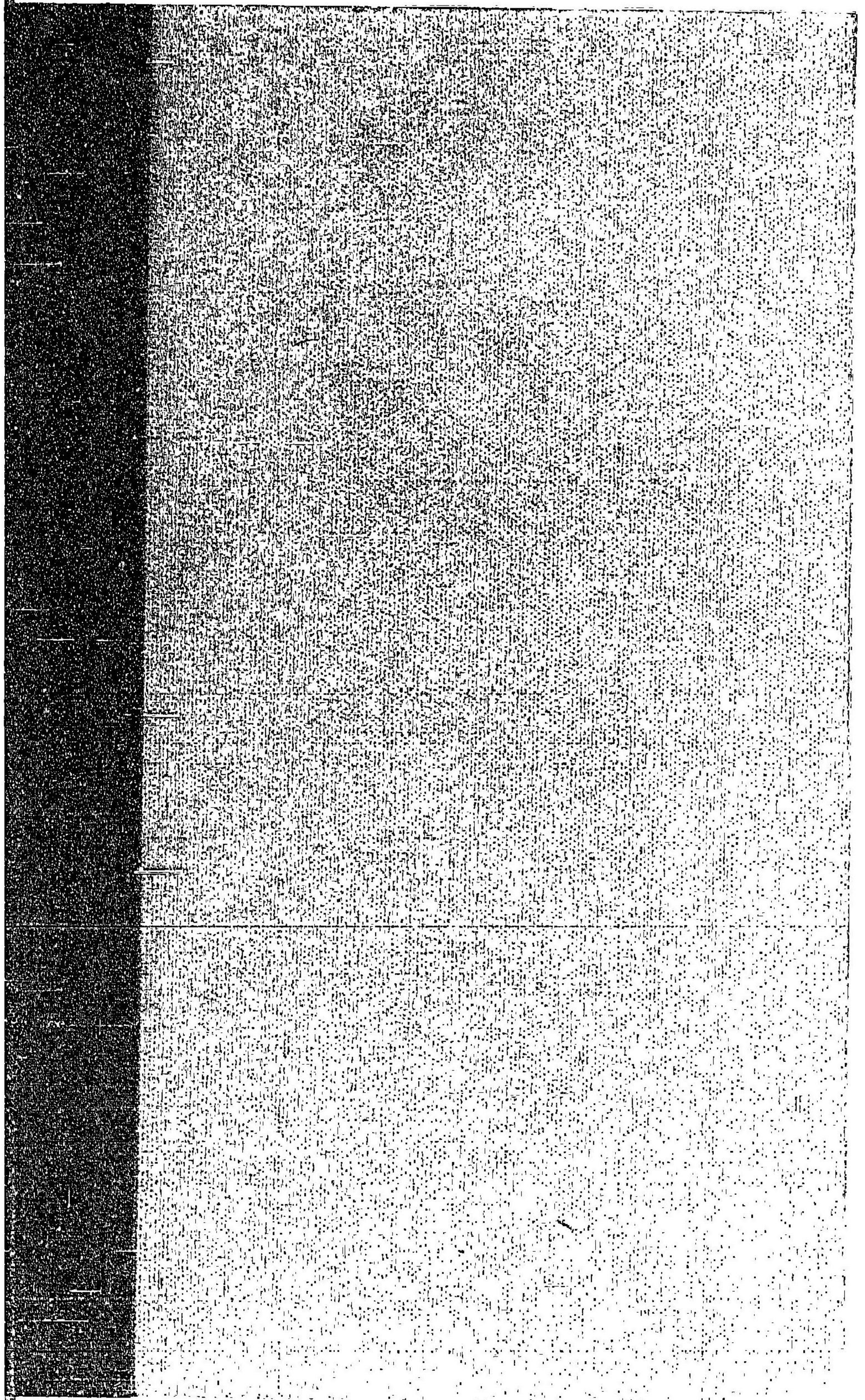
32

33

34



EX 3E-21



CZ
411
08

商工
必携 法令彙輯

国立国会図書館

禁電子式複写

037762-000-0

CZ-411-08

法令彙輯

木村竹治郎

M32

BBU-0404

